



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月31日

上場会社名 日本ケミファ株式会社
 コード番号 4539 URL <http://www.chemiphar.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 一城
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 安本 昌秀
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3863-1211

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	24,266	5.5	627	51.1	546	60.7	667	19.7
2019年3月期第3四半期	25,677	5.7	1,284	29.6	1,391	23.7	831	35.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 339百万円 (49.6%) 2019年3月期第3四半期 674百万円 (60.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	185.68	
2019年3月期第3四半期	231.20	

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	47,545	17,843	37.5	4,956.55
2019年3月期	46,926	17,863	38.0	4,963.24

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 17,819百万円 2019年3月期 17,843百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		100.00	100.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2020年1月31日)公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,800	7.0	150	89.8	50	96.7	200	77.3	55.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2020年1月31日)公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	4,261,420 株	2019年3月期	4,261,420 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	666,350 株	2019年3月期	666,188 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	3,595,153 株	2019年3月期3Q	3,595,412 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、[添付資料]P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信開示後速やかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記).....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動).....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用).....	8
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示).....	8
(セグメント情報等).....	8
(4) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、10月からの消費税率引上げによる影響はそれほど大きくなく、個人消費については緩やかな回復傾向が続きましたが、輸出が引き続き低迷していることや、製造業が弱含んでいることなどで、景気に足踏み感が見られます。また、海外についても回復傾向のテンポに鈍化が見られ、今後の見通しについても米中間の通商問題を巡る動向や英国のEU離脱問題、中東の地政学的リスクの上昇、中国経済の先行きといった諸問題が意識され、減速懸念が強くなっています。

国内の医薬品業界につきましては、10月に消費税率引上げに伴う臨時の薬価改定が行われ、薬価ベースでの改定率は2.40%の引下げとなりました。また、2020年4月にも診療報酬改定が予定されており、通常の薬価改定の他に、ジェネリック医薬品については金額ベースでの達成目標の設定などの新たな使用促進策などについて検討が行われています。

当社グループにおいては、理化学研究所と共同開発を進めていた体外診断用医薬品「ドロップスクリーン 特異的IgE 測定キット ST-1」(以下：ドロップスクリーン)について、10月に製造販売の認証を得ました。ドロップスクリーンはわずか1滴の血液で、41項目のアレルゲンに対する検査を30分という短時間で実施できるという特徴を有しており、本キット専用の測定装置である「ドロップスクリーン A-1 (製造販売元：上田日本無線株式会社)」とともに、発売に向けた準備を進めております。

(医薬品事業)

ジェネリック医薬品については、大型新発売予定品の上市延期の影響や、オーソライズドジェネリックの台頭による市場競争激化の影響などから、昨年10月に実施された薬価改定の影響を補えなかったことなどにより、前年同期比4.0%の減収となりました。主力品・新薬については、2019年2月から販売を開始している腸管洗浄剤の新薬「ピコプレップ配合内用剤」の採用軒数や売上高は着実に増えているものの、ソレトン・ウラリットなどの主力品がジェネリック医薬品への置換による影響を受けていることにより、前年同期比14.7%の減収となっております。

以上の結果、ジェネリック医薬品と主力品・新薬を合わせた医療用医薬品の売上高は21,664百万円(前年同期比4.6%減)となりました。また、製造受託なども含めた医薬品事業全体の売上高は23,678百万円(前年同期比5.2%減)、営業利益は668百万円(前年同期比48.2%減)となりました。

(その他)

主に受託試験事業、ヘルスケア事業及び不動産賃貸事業である「その他」の事業の業績は、受託試験事業の売上が前年同期に好調であった反動から、売上高は588百万円(前年同期比14.6%減)となり、40百万円の営業損失(前年同期は5百万円の営業損失)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は24,266百万円(前年同期比5.5%減)、営業利益は627百万円(前年同期比51.1%減)、経常利益は546百万円(前年同期比60.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は667百万円(前年同期比19.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

1)資産

流動資産は前期末に比べて2,003百万円増加し、30,672百万円となりました。これは、主に現金及び預金と棚卸資産の増加によるものです。

固定資産は前期末に比べて1,384百万円減少し、16,871百万円となりました。これは、主に減価償却費の計上と投資有価証券の売却によるものです。

この結果、総資産は前期末に比べて619百万円増加し、47,545百万円となりました。

2)負債

流動負債は前期末に比べて458百万円増加し、14,284百万円となりました。これは、仕入債務の増加などによるものです。

固定負債は前期末に比べて180百万円増加し、15,418百万円となりました。これは、長期借入金の増加などによるものです。

この結果、負債合計は前期末に比べて639百万円増加し、29,702百万円となりました。

3)純資産

純資産合計は前期末に比べて20百万円減少し、17,843百万円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と投資有価証券の売却に伴うその他有価証券評価差額金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期連結業績予想につきましては、本日(2020年1月31日)公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,333	10,507
受取手形及び売掛金	7,963	7,797
電子記録債権	4,795	4,446
商品及び製品	4,351	4,402
仕掛品	893	1,351
原材料及び貯蔵品	1,125	1,650
その他	205	516
流動資産合計	28,668	30,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,804	5,557
機械装置及び運搬具(純額)	2,247	1,911
工具、器具及び備品(純額)	391	365
土地	5,064	5,064
リース資産(純額)	264	243
建設仮勘定	17	108
有形固定資産合計	13,790	13,250
無形固定資産		
特許権	30	26
販売権	117	104
リース資産	36	35
ソフトウェア	173	156
電話加入権	18	18
無形固定資産合計	375	342
投資その他の資産		
投資有価証券	2,869	2,212
長期貸付金	2	1
長期前払費用	364	317
敷金及び保証金	100	86
繰延税金資産	408	310
その他	407	413
貸倒引当金	△63	△63
投資その他の資産合計	4,089	3,278
固定資産合計	18,256	16,871
繰延資産		
社債発行費	1	1
繰延資産合計	1	1
資産合計	46,926	47,545

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,926	2,299
電子記録債務	5,048	5,240
短期借入金	432	640
1年内返済予定の長期借入金	2,495	2,588
リース債務	104	104
未払金	43	55
未払法人税等	213	33
未払消費税等	195	119
未払費用	2,540	2,066
預り金	175	238
返品調整引当金	2	1
販売促進引当金	450	419
その他	197	476
流動負債合計	13,825	14,284
固定負債		
社債	200	200
長期借入金	12,158	12,289
リース債務	236	207
役員退職慰労引当金	467	439
退職給付に係る負債	636	523
再評価に係る繰延税金負債	1,115	1,115
その他	422	642
固定負債合計	15,237	15,418
負債合計	29,063	29,702
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,304	4,304
資本剰余金	1,303	1,303
利益剰余金	12,113	12,417
自己株式	△3,187	△3,187
株主資本合計	14,535	14,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,079	757
土地再評価差額金	2,513	2,513
為替換算調整勘定	△70	△116
退職給付に係る調整累計額	△213	△173
その他の包括利益累計額合計	3,308	2,980
新株予約権	19	23
純資産合計	17,863	17,843
負債純資産合計	46,926	47,545

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	25,677	24,266
売上原価	14,614	14,417
売上総利益	11,063	9,849
返品調整引当金戻入額	0	0
差引売上総利益	11,064	9,850
販売費及び一般管理費	9,779	9,222
営業利益	1,284	627
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	48	49
固定資産賃貸料	4	5
持分法による投資利益	17	14
為替差益	99	-
保険配当金	1	2
受取設備負担金	26	-
その他	20	11
営業外収益合計	220	82
営業外費用		
支払利息	97	94
為替差損	-	48
支払手数料	5	6
その他	10	14
営業外費用合計	113	163
経常利益	1,391	546
特別利益		
投資有価証券売却益	-	442
特別利益合計	-	442
特別損失		
契約解約損	40	-
特別損失合計	40	-
税金等調整前四半期純利益	1,351	989
法人税、住民税及び事業税	335	150
法人税等調整額	185	171
法人税等合計	520	321
四半期純利益	831	667
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	831	667

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	831	667
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△159	△321
為替換算調整勘定	△61	△46
退職給付に係る調整額	63	40
その他の包括利益合計	△157	△328
四半期包括利益	674	339
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	674	339
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客に対する売上高	24,988	689	25,677	—	25,677
セグメント間の内部売上高又は振替高	5	165	171	△171	—
計	24,994	854	25,849	△171	25,677
セグメント利益又は損失(△)	1,290	△5	1,284	—	1,284

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、安全性試験の受託等、ヘルスケア事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客に対する売上高	23,678	588	24,266	—	24,266
セグメント間の内部売上高又は振替高	6	6	13	△13	—
計	23,684	595	24,279	△13	24,266
セグメント利益又は損失(△)	668	△40	627	—	627

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、安全性試験の受託等、ヘルスケア事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(4) 重要な後発事象

該当事項はありません。